

第6回ESD連続セミナー概要報告

奈良教育大学 大西 浩明

| | |
|-------|-----------------------|
| ◇実施日時 | 2024年9月24日(火) 19時~21時 |
| ◇方法 | ZOOMによるオンライン開催 |
| ◇参加者数 | 43名 |
| ◇内容 | 単元構想案の相互検討② |

【ルーム1】ファシリテーター：中澤静男（奈良教育大学）

1) 岸下哲史先生（奈良市立ならやま小中学校）

7年 総合的な学習の時間 「総合学習PLANシート」

夏休み中の個人探究学習：自分の興味のあるものを調べ、CANVAを用いて表現する。(デザインにこだわる)

道徳とのカリキュラム・マネジメント ガーナで持続可能な社会づくりに取り組んでいる長坂さんの取り組みにふれる

→長坂さんのように持続可能な社会を目指して頑張っている人や企業、取組を紹介しよう。

→知ることからスタートする【奈良の伝統的な産業を知る】

吉田蚊帳、春日庵、古梅園、奈良漬け山崎、漢国神社、元興寺 を調べる

どれも長く続いてきている → 継続にとって大切なことを考察

→ならやま小中学校校区 ニュータウン

人間としての継続：健康でない人が増えているような気がする

赤道（日本で一番長い歩行者専用道路）をつかった健康づくり

地域の人々のウェルビーイングを高める

意見交流から

・6つの調査活動と6つのゼミ

提案をまとめ、協力者を探すことで、アントレプレナーシップを育む。

・コンテンツではなく学び方にフォーカスし、小中を学び方でつなぐ

2) 三好偉雄太先生（王寺町立王寺北義務教育学校）

小学校1年 生活科 「おうじ すてき はっけん！」

◎自分たちの生活が地域の様々なものにつながっていることに気づくことから、町を自分事としてとらえる力をつける。



導入：蒸気機関車の置かれている公園（船戸児童公園）

王寺町観光協会HP：「ゆきまる」に教えてもらおう

自分たちの住んでいる町をもっと知ろう

ふかめる：王寺町役場の岡島さんに話を聞こう

・王寺町は「鉄道のまち」と言われていた

「鉄道のまち」のいいところは何だろう？

・ほかにも王寺町のすてきなところを知りたいな。家族にも伝えたい。

意見交流から

- ・子どもたちは現状のまちが「当たり前」だと感じて暮らしている。
古い写真をつかってまちのクイズをすることで、知りたい気持ちを高める。
- ・船戸公園は「舟渡」だった。渡し舟が使われていた。→ 驚きが関心を高める
- ・平城遷都 1300 年記念出版 NARASIA 日本と東アジアの潮流 これナラ本に大和川の舟運についての論文があったと思うので、参考にしてください。

3) 三笠日向先生（大阪市立新森小路小学校）

小学校6年 社会科・道徳・総合的な学習の時間「知行合一～大塩平八郎から学ぶ～」

大塩平八郎の乱 背景：1833年～1839年天保の大飢饉

檄文を配り、蔵書を売り払って賛同者を集める

大塩平八郎一件書留：森小路村 医師 文哉さんにも乱に加わるよう手紙を書いている

※なぜ、地域の先人たちは大塩平八郎に賛同したのだろう
賛同すると死刑になるとわかっていたにも関わらず、立ち上がった人たちがいた

大塩事件研究会の藪田さんに話を聞く

陽明学：知識を得たら、行動していかなければいけない

「知行合一」「知っていても何もしないと変わらない」



意見交流から

- ・ユニクロの服のカプロジェクトに協力するのもいいけれど、先人のように地域課題に対して自分に何ができるかを考え、行動化したほうが良いのではないか。
- ・地域でのボランティア活動を促したい。

【ルーム2】ファシリテーター：河野晋也（大分大学）

1) 駿河徳子先生：（奈良学園小学校） 小学校2年 生活科・特別活動「えがおでJAMP！」

10月末に吉野お宿（1泊2日）を予定している。「一休さん体験」（修行）で座禅・サイレントウォーク、護摩焚きなどをして自分たちを磨き、心を強く持つということをねらいとしている。これを単元を中心に据えてどんな学習ができるのかを考えている。導入は、町探検からつなぐことが自然だと考えたが、私立であり居住地もバラバラであるため難しく、道徳の授業を導入に生かすこととした。この1泊2日を通して自分がどう変わったのかを確かめ、広げる段階において「かっこいい2年生になれたかな?」「かっこいい3年生になるためにどんなことをすればいいのかな」と自身の成長を確かめていく。

意見交流から

目指す最終の子供の姿、特に「かっこいい2年生」像をどう捉え、ひろげる段階につなげていくことがポイントになると意見が出た。子どもたちの内面の現代的諸課題に結びつくものではないかもしれないが、人とのかかわり方など ESD で育む見方・考え方・または資質・能力に関わるものも多く、持続可能な社会の担い手の素地となると考えられる。直接学校が目指している「助け合える子、ねばりづよい子、話が聞ける子」などの目指す姿は、中学校の生徒にとっても、共通の課題でもあるとの意見も出た。子どもたちの自信につながるということがとても大切であるとの意見が出た。

2) 中川純一先生（生駒市立俵口小学校） 小学校5年 総合的な学習の時間

「未来の環境のためにわたしたちにできること：四日市ぜんそくに関わった人たちの思いにはせる」

四日市のきれいな夜景を導入として扱い、工業地帯として発展した四日市市に着目させる。当時の日本の様子を知るとともに、当事者の思いに気づかせるよう「しらべる」段階を設定していく。当時の状況を知る資料としては、「グリコのおもちゃ」を題材として扱い、日本全体が豊かな暮らしを目指していたことに気づかせたい。そのうえで、「日本の発展のために石油コンビナートをつくることはどのように思いますか」という問いを設定し、自分なりの考えを持たせようとした。

意見交流から

被害者側の視点で学ぶだけでなく、企業や国の視点も取り入れていることの良さについて、必ずしも企業を悪と位置付けてしまうのではなく、考えさせるような学びになっているというコメントがあった。「ふかめる」段階の課題「コンビナートを創ることについてどう思うか」という問いについては、子どもにとってどちらかを選ぶことが難しいのではないかとの意見が出た。単元の構成として、最初の導入の写真を最後にも見せて変化が起こったのかを見取るようにしたいというアイデアが出された。子どもの夜景についてのとらえ方がどう変わったのかを考えやすく、自身の変化に気づくことができる手立てであると考えられる。

3) 赤嶺英幸先生（沖縄県豊見城市立上田小学校）

小学校6年 社会科「大昔の暮らしの様子を調べてみよう」

縄文時代と、弥生時代について学ぶ社会科の授業実践の報告であった。調べる過程では、自由進度学習を取り入れ、指導の個別化をはかっている。なぜコメ作りが日本中に広がったのか、という問いからSDGsとの関連が見られることが報告された。また「どちらの時代に住みたいか？」という問いを設定し、その理由をSDGsと関連付けて答えさせるといふ、パフォーマンス評価を行った。さらに「住みたくない理由」を考えさせ、どうすれば自分が課題と感じられることを解決できるのか考えさせた。

意見交流から

実践はすでに終了しており、事前事後にとったアンケートをもとに、自分の考えを他者とのやり取りを通して変わったこと、SDGsの認知などはプラスの変化があったことが報告された。課題としては批判的思考をもっと活用させる必要があると報告された。歴史学習の中でESDをどのように取り入れるかという点で参加者からの意見がいくつか出された。「その時代から学べることを取り入れる」「歴史を学ぶのではなく歴史から学ぶ」ということを大切にすることで、ESDらしくなるのではないかと話があった。

【ルーム3】ファシリテーター：新宮済（奈良女子高等学校）

1) 山川丈二先生（奈良学園小学校） 小学校4年 社会科「特色ある地域の暮らし」

『和紙が1300年も続いた秘密を探そう』

- ・テーマ：伝統伝承には思いと工夫と支えが大切であることを感じてほしい。
GTの思いや願いのつらい部分や葛藤で児童を揺さぶりたい。
- ・動機：将来の夢に関してお金を稼ぐことが1つの価値観 ⇒ 多様な価値観に触れてほしい
- ・手すき和紙：2年生で手すき和紙の体験はするが、人の思いなどに触れる機会がなかった
- ・ポスター(手すき和紙)にある言葉を導入に、触るなどの五感を通じて、和紙と洋紙の比較や違いの発見

- ・歴史・自然条件などを整理しながら、子どもの疑問からグループごとに調べ学習⇒発表・交流
- ・調べられないこと：職人さんの苦勞・喜び・思い
 - ⇒zoomでGTの職人さんと観光協会の方に話を聞く
- 和紙の課題を踏まえた上で、手すき和紙の魅力を話し合う
 - ⇒再度上記のGTに登場してもらい、職人さんから魅力や苦勞、思い支えの必要性のお話
 - 支える側の立場として観光協会の方のお話
- 手すき和紙をもう一度、体験⇒自分で書いた和紙に自分の将来の夢を書いて発表する

意見交流から

- ・2年で一度触れているので、子どもから思いなどは出やすい。
- ・職人さんから思いを聞くだけでなく、伝統産業を支える側の人も来てくれるのが面白い。
- ・ESD社会科として人々の協力で和紙を使いながら町を活性化する取り組みなどもあってもよい？
- ・衰退などのリアルなものを語ってもらうと、「こんないいものなのに…」というふうになるのでは？
- ・吉野で和紙が守られるシステムなどに気付いたら、持続可能性に気づく展開にもっていけるのでは？
- ・2年で作成した和紙が今も大切に手元にあり愛着もあると、児童はのっかってくるのでは？

2) 澤田悠先生（奈良市立三碓小学校）

小学校3年 総合的な学習の時間「習字で使った固形墨はどこで作られたか？」

- ・3年生：奈良に伝統工芸の墨を知ってもらう→ほかにもあるかな？もっと調べたい
 - 墨を『他の人にも知ってほしい』と思ってほしくて作成
- ・動機：実際に固形墨をすって授業している。⇒身近な存在から学びにつなげたい
 - 固形墨の使いにくさを知っている → なぜそれでも続いているの？などの疑問を引き出したい
 - どこで作られている？→奈良が90%→驚き・発見
- ・なんで奈良で？いつから？どうやって？手間や工夫は？ ← 調べ学習・製造工手の動画の活用
- ・歴史を知る → かみ砕いたクイズで学ぶ（3年生に歴史は難しい）
 - 墨で書かれていた、寺社が多い、昔、都だったので墨が必要
 - GTの活用（墨会社にぎり墨体験のワークショップなど）
 - ⇒固形墨のよさに気付いてもらう+引き継いできた思い・固形墨の魅力を語ってもらう
 - ⇒便利だから墨汁という子どもたちに、固形墨のよさに気付いてほしい
- 伝統工芸品を知ってもらおう（児童の気づき：墨の深堀、筆について、他の工芸品、近くの県では？）

意見交流から

- ・3年総合は調べ方や学び方の初めの1歩なので、『これ調べたい』に対してのサポートが必要
 - 保護者や地域の方などの伴走者をつけてあげてもよいのでは？
 - 調べて楽しい、誰かにアクセスして楽しいと感じてもらえたらよいのでは？
- ・地域素材の教材化…生に触れる、比較対象を用意する、人に触れるが大切
- ・導入でいかに自分事にさせるか。面白かったと帰って家族を巻き込む形にしたい。となると導入が弱い気がする。
- ・書道パフォーマンスなどを扱うと作品作りなどにもつなげられるのでは？
- ・固形墨の良さとして、墨汁とは違う匂い以外にサラサラで伸びもいいが、専門的にしているからこそ感じられる良さであり3年生が匂い以外のよさや魅力に気付けるか難しさがあるように感じた。
- ・人の部分が弱いので、企業の方の生き方や思いなどを大切にして、出会わせると『ひろげる』の答え

が出てくるのでは？

3) 屋良真弓先生（沖縄県南風原町立南風原小学校）

小学校6年 社会科「平和で豊かなくらしをめざして」

素材：ハイオ南風原織と平和学習

動機：6年生の戦後復興の単元にどうやって教材化するか

- ・沖縄の戦後復興は教科書で学べないので、人々の生き方から自分たちの生き方の糧にしてほしい
- ・戦後女性のたくましさ、したたかさ、チャンプルー文化(多様な文化)を伝えたい
- ・戦後の米軍統治時代の人々から学べることもあるのでは？

⇒人びとの目線から、どんな願いや思いから社会を立て直したのかを学ばせたい

沖縄の戦後復興は教科書で学べないので、人々の生き方から自分たちの生き方の糧にしてほしい

- ・中央史（を踏まえて）→ 沖縄史と行ったり来たりして歴史を教えたいと考えている

南風原村：当時8,000人の40%が戦死、米軍払下げテントで小屋作り

払下げの落下傘から布を編みなおす、戦前の技術を生かして織物で戦後復興

ハイオ南風原織：アメリカから来た神父が戦後孤児のために織物工場、アメリカから取り寄せた冊子をもとに作成したため、柄が伝統的ではなく西洋っぽい

单元構想案

①教科書の問いを使いながら本土の中央史を知る

教科書の『日本の復興には時差がある』の1文を起点に

本土と沖縄の年表比較する

②田本さんをキーパーソンに女性の戦後復興を知る

③戦後沖縄の生き方を調べる

④戦後沖縄復興の4コマ漫画を描く

意見交流から

- ・沖縄にいながら、本土と比較しながら作成されている点がおもしろい（時間切れのためここまで）

【ルーム4】ファシリテーター：中澤哲也（大和郡山市立片桐西小学校）

1) 高橋百合香先生（鹿児島県屋久島町立小瀬田小学校）

小学校6年 外国語科「We live together ～私たちは一緒に暮らしている～」

単元のゴール 動物の気持ちを伝えるために、ポスターを作ろう！

- ・動物を入りに、レッドリストに注目させる
- ・レッドリストの動物について調べる

意見交流から

- ・外国語としてのセンテンスとのすり合わせはOK。
- ・小学校6年生を対象にしている。8人の児童。
- ・屋久島の動物 ヤクシカ、ふくろう、ウミガメ、ヤクザルなど。獣害も課題になっている
- ・ヤクシカはふえすぎて困っている。駆除され焼肉にもなっている。
「ヤクシカと共生するためにどのような暮らしをしてきたのだろうか。」を視点に展開するのもいいのではないか。
- ・屋久島の中でレッドリストの動物に絞ってみてはどうか。

- ・共存は守るだけではない
- ・外国語活動の中だけでやるには、時数が厳しい。守るか、注意喚起か、どちらかに焦点を絞った方がいいのでは。
- ・ウミガメを守っている他校との交流も考えられる。
- ・ウミガメの孵化の様子は感動する。その感動を共有し、児童の行動化の意欲につなげていってほしい。

2) 山口雅史先生（天理市立福住小中学校） 中学校3年 総合的な学習の時間「価値観をぶっ壊せ」

- 地雷について焦点をあてていく。
- 世界には6000万～7000万の地雷が埋まっている。
- 撤去することがむずかしい。でも撤去しないわけにはいかない。
- 二学期の最初に実施したい。

意見交流から

- ・ひろげる部分でもつ、生徒の変容はどんなイメージをもつか。
 - 最後は世界の課題ではなく、地域に視点をもどすのもあり。
- ・安易に消してしまう子どもたちに、しっかり考えられる姿勢をもつ。
- ・発信者を育てる人材を育てたい。発信者になるためには「対話」が大切であることに気付かせたい。
- ・「できる」ためにはどうすればいいかをスタートに考える
- ・「相手を知ろうとしない」から争いが起きる。
- ・実態から、書くのも消すのも、時間がかかりそう。「知る」ことがまずは第一歩である。「知る」ことをやめなければ、平和が世の中になるのではないか。
- ・実際に発信者になっている人に出会わせる。
- ・身近な問題を扱い、実際に何ができるか考えさせる。地雷だけでなく、他の紹介も用意しておく。
- ・ESDはどれだけ課題を自分事にするか。今のひろげるでは、自分事になるか。福住で学んだことをふくめて、自分たちに何ができるかを具体的に考えてみてほしい。

【ルーム5】ファシリテーター：圓山裕史（奈良市立伏見小学校）

1) 神前竜太先生（大阪市立加美北小学校） 小学校5年 総合的な学習の時間「推しの工場」

校区には大小含めた工場が多数あり、社会の工業生産の学習の後に、校区の工場を調べるフィールドワークを行い、働く人の思いや地域の道路の広さなどの工夫などを調べていく活動をメインとする。「深める」ではグループでのポスター作りで、それぞれの「推しの工場」を紹介していく。調べる中で、それぞれの「推せる」ポイントを紹介できるような活動にしたい。

「ひろげる」の部分に悩み→「加美北の工場はどうなっていくのだろう」という問いでいいのだろうか？各工場との話の中で、どこも「廃材利用」に課題を抱えているようなので、一緒に考えるとかもいいのかもしれないと考えている。

管理職からのトップダウンで、大阪万博絡みのパプアニューギニア（PNG）との交流があつて、どのようにからめていったらいいのかも悩んでいる。

意見交流から

- ・PNG側がどんな学びをしているのか？そもそも、学習につながるか？
 - 交流は別で考えて、指導案には入れなくてもいいのでは。
- ・PNGとの交流のめあては？

→自分たちの地域を紹介しあうことなのですが、現地はごみ問題とかの問題よりも生きること自体に課題があるようだ。

- 推しの工場を推し活をするみたいなイメージ。「推し」という言葉がとてもいいので、もっと推していきましょう。推しの工場を選ぶときに、一極集中にならないようにしたい。
- 中学校での職業体験につながるいい活動になるのではないか。
- 廃材利用を一緒に考えるのは面白いと思うので、学校でそういったものを利用していくとか、学校で利用できるものを考えていくとかの方向になるとおもしろそうですね。

2) 吉岡真志先生（奈良学園小学校） 小学校6年 理科「月と太陽」

月の写真を撮ろうと、1カ月くらい撮影の期間を設けて、見比べて考える活動。

メインの発問は、「学校にいる時間に満月はみられるだろうか？」として、月と太陽の関係などの指導要領上のことを押さえるようにする。見えたら「お月見大会」をしようと呼びかけて、意欲的に取り組ませる。

「ひろげる」の活動では、月がウサギに見えると日本では言われていることを取り上げ、海外では違う見方をしていることも調べたあとに、自分たちは何に見えるのかと想像し、それぞれのストーリーを考える展開にする。

意見交流から

- 斬新なアイデアであるがESDとの関連が難しい。「お月見大会」にからめて何かできないか？
→実際には見えない。塾などに行く児童もゆさぶりたい思いでの問いである。
- 中秋の名月といった文化を楽しめる価値観を持たせることで、ESDとして成立するのではないか。
- スーパームーンやストロベリームーンなど、「○○ムーン」みたいなものがなぜ見えるのだろうといった活動があってもいいのではないか？
- 月の暗い部分で想像し、自分たちでストーリーを考える活動がとてもいいので自分でもやってみたい。
- 「月見○○」といった商品戦略が最近は多くみられるように思うので、そういったことを導入に使えるか？